

岐阜県精神保健福祉会連合会（ぎふかれん）
（旧・岐阜県精神障害者家族会連合会）

2019年度 あゆみ 概略版 2020年2月発行

NPO 法人 岐阜県精神保健福祉会連合会（ぎふかれん）
〒500-8385 岐阜市下奈良 2-2-1 岐阜県福祉・農業会館 3階
TEL/FAX 058-271-8169 HP : <https://gifu-karen.jimdo.com/>

「岐阜県精神障害者家族会連合会」設立 昭和 49 年 9 月 13 日（1974 年）
NPO 化（特定非営利活動法人） 平成 12 年 7 月 21 日（2000 年）
名称変更 平成 20 年 7 月 28 日（2008 年）
特定非営利活動法人 岐阜県精神障害者家族会連合会から
特定非営利活動法人 岐阜県精神保健福祉会連合会へ

「あゆみ概略版」発行にあたって

「ぎふかれん」は“家族の元気は、当事者の元気につながる”の合言葉で、精神障害者の福祉・医療の向上の活動を行っています。

2019 年は、「ぎふかれん」設立から 45 年、呉秀三先生が 1918 年日本の精神障害者の生活を調査・発表してから、101 年経過しました。

家族会の活動と岐阜県の精神障害関連の歴史を、先輩方がお元気なうちにまとめたいと考えました。

また、2006 年 12 月 13 日国連総会で「障害者権利条約」が採択されました。この条約には障害者は障害のない人と平等に生活できる権利があると謳われています。

日本は 2007 年条約に署名し、福祉関連法案を整備して、2014 年批准しました。2020 年秋、国連委員会が日本政府を審査し、日本の政府報告も出されます。

岐阜県でも、2015 年「障害のある人もない人も共に生きる清流の国づくり」条例が作られました。この 10 年で、ようやく障害者福祉が向上してきたと感じられますが、まだまだです。「私たち抜きに私たちのことを決めないで」を合言葉に、障害者の尊厳と権利の保障を求めていきましょう。

「ぎふかれん」の設立

1974 年（昭和 49 年）9 月 13 日「岐阜県精神障害者家族会連合会」結成大会（創刊号より）
5 つの病院家族会と 1 つの地域家族会で設立（岐阜精神病院家族会・慈恵中央病院家族会
須田病院家族会・美濃加茂家族会・岐阜市あけぼの会・伊自良村家族会）

会則の作成・施行 初代会長：酒井田東一氏

設立趣意書（事務所は県精神衛生センター内）

- (1)医療費全額公費負担の完全実施
- (2)社会福祉医療体系と施設の実現
- (3)最低生活保障の実現

精神障害者の医療費助成

岐阜県では、手帳 1・2 級の精神障害者は平成 18 年(2006 年)から全科無料になる。

(いまだに無料になっていない県が多く、各市町村独自の制度で無料になっているところが多い。)

国の障害者自立支援法（精神科外来 1 割負担 手帳 1~3 級）平成 18 年（2006 年）

岐阜県の重度心身障害者医療のながれ

実施年月日	対 象 者	所得制限	当事者負担	県経費負担	市町村負担
S48.1.1. (1973年)	身障手帳 1・2 級 知的の一部	あり	医療費の 2/10	2/3	1/3
S48.7.1. (1973年)	身障手帳 1~3 級 療育手帳 B1 以上	なし	無料	2/3	1/3
H18.10.1. (2006年)	精神障害者保健福祉手 帳 1・2 級 入院時食事の助成廃止 入院時生活費助成なし	一部あり	無料 (入院は一部 あり)	1/2	1/2

1972年(昭和47年)岐阜市医療費助成(岐阜市独自の制度)(S62年頃、廃止)
岐阜市の国民健康保険加入者の精神科受診は、自己負担1割(通常3割)

精神障害者保健福祉手帳制度のながれ

身体障害者	1949年(S24年)身体障害者福祉法の制定 1951年(S26年)身体障害者手帳の交付
知的障害者	1973年(S48年)療育手帳制度の創設 1998年(H10年)用語の変更「精神薄弱」⇒「知的障害」
精神障害者	1989年(H元年)精神障害者の証明書ができる。(手帳はまだ) 1995年(H7年)精神保健福祉法の制定 精神障害者保健福祉手帳の創設(1~3級)

家族会・作業所などの設立「ぎふかれん誌」より

- 1964年(昭和39年)9月「岐阜精神病院家族会」(岐阜病院と2つの病院)結成
会長：酒向 岸
- 1966年(昭和41年)7月「慈恵中央病院家族会」設立総会 177名参加 病院と家族で活動
- 1966年(昭和41年)11月「須田病院家族会」発足(病院主体)
- 1971年(昭和46年)12月「あけぼの会」発足 代表：岩田正一
- 1972年(昭和47年)4月1日より、岐阜市の国保給付9割を実現(陳情、市長交渉で実現)
- 1981年(昭和56年)11月に「れんげ家族会」発足
- 1983年(昭和58年)1月に「恵那地区家族会(露のとう会)」発足
- 1983年(昭和58年)3月に「中濃地区家族会」結成大会
関保健所管内(関市・美濃市・5町村) 会員70名 会長：平野豊一
- 1983年(昭和58年)6月1日「長良共同作業所」(精神障害者用)の開設
福祉農業会館の精神衛生センターの隣接の一室で
- 1984年(昭和59年)「白川町やすらぎ会」結成。50名 会長：嶋崎豊喜
1981年(昭和56年) 保健所などの協力で白川町に4地域家族会が結成
1982年(昭和57年) 井戸太郎氏が中心となり「やすらぎ会」を作る。
- 1985年(昭和60年)には、11の地域家族会、5の病院家族会になる。(創刊号より)
「県家連」加入の家族会(8家族会)(未加入8家族会)

- 1988年(昭和63年)3月「いぶき会」家族会設立(1市11町対象)
昭和62年大垣保健所の呼びかけで、発起人会の設立
- 1990年(平成2年)3月保健所の指導で「わかば共同作業所」の設立
- 1990年(平成2年)4月「ひかりの家共同作業所」開所。所長：佐伯悟 美濃加茂市太田
美濃加茂市前平町に移転(平成6年ごろ、手狭になったため。)
登録者16名、通所者13名程度
- 1991年(平成3年)「ドリームプラザ」創設 瑞浪市 通所者16名 指導員2名
- 1992年(平成4年)5月「ふきのとう作業所」設立 神沢恒夫氏の物置を使用
- 1993年(平成5年)県内8つの作業所に、共同募金の配分金でFAX機器が設置された。
- 1994年(平成6年)6月「コスモス会」の発足 会長：川田進
羽島保健所管内に 会員22名
- 1995年(平成7年)「いこい会」設立。会長：石井敏郎
平成4年から大野保健所の協力で集会を持つ(揖斐郡3町5村、本巣郡6町1村)
- 1995年(平成7年)1月阪神大震災義援金として、県精神障害者健全育成会から3万円を
岐阜新聞・岐阜放送社会事業団に寄付した。
- 1995年(平成7年)精神保健福祉法(略名)の制定により**精神障害者保健福祉手帳**の創設
心身障害者扶養共済制度の案内・加入の勧め(会報より)
- 2002年(平成14年)8月日本精神神経学会の決議で「**精神分裂症**」から「**統合失調症**」と改名
され、同月、厚生労働省が新名称の使用を認め、全国に通知した。
(「みんなねっと」が1993年から病名変更の運動をする。)

日本の精神・福祉法の歴史

- 1900年(明治33年)**精神病者監護法**(私宅監置)
治安目的 監護義務者は家族
「岐阜県精神衛生相談所」が井奈波保健所内に併設される。
- 1918年(大正7年) 呉秀三らが、調査「精神病者私宅監置ノ実況及び其統計的観察」を発表。
- 1919年(大正8年) **精神病院法**公布(公立精神病院の設立が目的)
(公立精神病院の設置は進まず、公安に重点を置いた国家管理が進む。)
- 1950年(昭和25年) **精神衛生法**が制定(戦前の2法廃止)
私宅監置の廃止 強制入院(措置入院、同意入院)を規定。保護義務者は家族
- 1964年(昭和39年)ライシャワー事件
- 1965年(昭和40年)精神衛生法一部改正(措置入院が強化され、入院患者の増加)
「全国精神障害者家族会連合会」(全家連)の結成
- 1966年(昭和41年)「精神衛生センター」の設置(岐阜総合庁舎に)(M33年の名称から変更)
- 1987年(昭和62年)**精神保健法**の制定
- 1993年(平成5年)**障害者基本法**
厚生省は精神障害者手帳を検討、各種割引で社会参加を促す。
(身体・知的障害者→すでに、JR・バス・航空運賃の割引、郵便料の減免、
公営住宅への優先入居制度あり)
全国高速道路料金の半額割引制度が、10月からスタートしたが、写真による
本人確認ができないので、精神障害者は割引対象にならず。
- 1995年(平成7年)**精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(精神保健福祉法)**の制定。
精神障害者保健福祉手帳の創設。(福祉サービスの利用が図られる)
「精神衛生センター」から「精神保健福祉センター」に名称変更。

1996年(平成8年)から「障害者プラン7か年計画」がスタート。
2007年(平成19年)4月「全家連」解散、同11月「全国精神保健福祉会連合会」設立
2011年(平成23年)「障害者基本法」改正、「障害者虐待防止法」制定
2012年(平成24年)「障害者総合支援法」制定
2013年(平成25年)「精神保健福祉法」一部改正
2014年(平成26年)国連の「障害者権利条約」を日本が批准(国連事務局の承認を受ける)
2015年(平成27年)岐阜県「障害のある人もない人も共に生きる清流の国づくり」条例制定

世界の流れ

1975年(昭和50年)国連「障害者の権利宣言」採択。
1976年(昭和51年)「国際障害者年」(1981)と定め障害者の「完全参加と平等」を目指す。
1982年(昭和57年)「国連・障害者の十年」(1983~1992)と定め、この間における各国での積極的な障害者対策の推進を提唱。
2006年(平成18年)国連「障害者権利条約」(あらゆる障害者の尊厳と権利を保障する)採択。

「ぎふかれん」の事業

- 「ぎふかれん誌」の発行(機関紙)
創刊号は1985年(昭和60年)発行。設立後11年間の家族会の歴史がまとめてある。
その後、毎年1~2回ほど。(数年間、出していない時もあり。)
現在、第64号(2020年1月号、No.64)
第3号からは、岐阜県共同募金会からの寄付で作成しましたとの記載がみられる。
- 啓発事業(県の委託事業として実施)
 - ・「知ってもらいたい心の病」年2回開催
第1回は、平成14年11月(岐阜市)。現在、第35回(令和元年10月)。
春は岐阜県精神保健福祉ボランティア協会の全面協力で開催。秋は「ぎふかれん」主催。
当事者・家族だけでなく、一般の方の参加にも努めている。
 - ・「岐阜県精神保健福祉研修会」年1回開催
主に、当事者・家族向けに、医療・福祉等の学習会を開催。
- 総会・研修会は、設立当時から毎年のように行われたようです。
各家族会の設立総会には、多数の参加があり、学習会も行われたようです。
- 「岐阜県精神障害者家族大会」(県大会)
後に、「岐阜県精神保健福祉会研修会」と改称。年1回開催
昭和年代は、岐阜市・関市・高山市・白川町等で開催された。
その後、5圏域の持ち回り。
平成29年度第37回県大会は中津川市。平成30年度は高山市(ブロック大会を兼ねた)
平成31年度総会で、県大会中止を決定。半日の「ミニ大会」に変更の予定。
県大会費用は、開催圏域の市町村からの助成・分担金、県からの助成金、岐阜新聞社社会事業団からの寄付金等で行った。(助成金獲得の事務が大変になる。)
- みんなねっと全国大会に参加(平成4年に第25回大会に参加と記載あり)
毎年参加した様子。令和元年の愛知県の全国大会は会員45名参加(岐阜県から59名)
- 甲州・東海ブロック精神保健福祉研修会に参加(平成4年から記載)
山梨・静岡・愛知・三重・岐阜県の5県の輪番制で開催している。
(岐阜県は、岐阜市・下呂市・大垣市・高山市で、平成30年度は高山市で開催。)

- 作業所交流会を開催
 - 第3回作業所交流会が平成4年に開催された。(第1回は平成2年頃)
 - 作業所交流会の事業(スポーツ大会等)は、平成28年ごろ中止された。
- 精神保健岐阜県大会に参加(平成4年は、第31回)精神保健協会主催
- 電話相談事業
 - ・平成18年(2006年)新規事業として「こころの病」家族相談センターを開設した。
 - 月～金、10:00～15:00 平成27年まで。(中日新聞社会事業団より助成金)
 - ・平成28年より、県の委託事業として「電話相談事業」を継続。
 - 火・木曜日の10:00～15:00相談と、年2回の電話相談レベルアップ検討会を開催。
 - 相談件数(平成27年まで30～100件/年。現在80～150件/年)
- 国・県等への要望
 - ・医療費の助成
 - 1972年(昭和47年)4月1日より、岐阜市の国保給付9割を実現(陳情、市長交渉で実現)
 - (昭和62年ごろ廃止)
 - 2006年(平成18年)新知事就任時に、岐阜県の手帳1・2級者に医療費全額補助制度が認められた。
 - ・精神障がい者に対する公共交通機関の運賃割引制度の適用を求める運動
 - JR等運賃割引の運動 署名運動(全国で62万筆、岐阜県で6,600筆)
 - 2016年(平成28年)5月国会議員会館へ署名簿提出
 - 県・市町村へ、同制度適用を求める「国への意見書」採択の運動
 - (岐阜県は平成29年、平成30年には関市、岐阜市、その他、意見書採択された。)
 - 2019年(令和元年)6月26日国会(衆参両院)で「請願」が採択された。
 - 樽見鉄道(2019年10月1日)、濃飛バス(2019年12月1日、高山⇔岐阜高速バス)
 - が運賃半額となる。長良川鉄道・明智鉄道はすでに運賃半額となっている。
- 他機関との連携
 - 障害者差別解消・啓発の街頭宣伝を県・他の団体と実施している。
 - 県の障害者会議等に参加。他の団体主催の講演会等に参加。

家族会(作業所等)の設立と現状

<p>岐阜市あけぼの会 会長：服部信子 ☎500-8156 岐阜市祈年町11丁目8番地1 ☎/FAX 058-247-6004 会員95名 HP:akebonokai-gifu-city-kazokukai.jimdo.com</p> <p>当事者会「楽らくクラブ」 会長：石田吉保 毎月日曜日(主に第4)開催。 2010年ごろ設立。</p>	<p>設立：昭和46年9月</p> <p>病院家族会の会員が中心となって、地域家族会「あけぼの会」が設立される。支え合い・学習・運動の3本柱の活動。</p> <p>例会を毎月、開催している。「岐阜市あけぼの会便り」(会報)を会員・行政に毎月発送している。(例会と楽らくクラブの案内、例会の内容などを掲載)</p> <p>例会では、年3回程の精神科医・精神保健福祉士などを招いての講演会、交流会、相談会などを行っている。</p> <p>○「長良共同作業所」を昭和58年6月、県センター・「ぎふかれん」の援助で、福祉・農業会館内に設立。</p> <p>○「岐阜市あけぼの苑」を昭和63年に岐阜市の補助で開設</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>○「岐阜市第2あけぼの苑」を平成元年に旧長良作業所を吸収し岐阜市の補助で開設</p> <p>*その後、家族会と作業所（3か所）が分かれる</p>
<p>NPO 法人ぎふ脳外傷友の会 長良川 理事長：久保敏雄 ☎500-8381 岐阜市市橋3丁目11-18 ☎ 058-277-6113 FAX 058-213-6120 会員 75 名 【就労継続支援 B 型事業所かけはし西岐阜】 定員 20 名</p>	<p>設立：平成 18 年 3 月 家族会は、いちご狩り・バス旅行・クリスマス会等の行事を行っている。高次脳機能障害フォーラム等で勉強会。 ※「かけはし西岐阜」は障害者総合支援法の就労継続支援 B 型事業所として、平成 21 年 4 月にスタートした。 事業所では簡単な手作業などを行っている。</p>
<p>たんぽぽの会 代表：井上俊子 ☎504-0041 各務原市那加土山町2丁目129 ☎058-383-4698 会員 15 名</p>	<p>設立：平成 3 年 市の障がい者団体に平成 15 年に加入。 毎月第 2 火曜日に例会を開催。時々講師を招いて学習・研修会を行う。主に家族同士の親睦を図る相互支援の場。 市の社会福祉課や社協の協力を得て、地域で普通に生活ができるように努力している。</p>
<p>NPO 法人西濃地域精神障がい者家族会 いぶき会 理事長 三輪敏勝 会員 27 名 いぶき作業所【就労継続支援 B 型】 ☎503-0022 大垣市中野町5丁目131-1 ☎/FAX 0584-74-8980</p>	<p>家族会設立：昭和 63 年 定例会：奇数月第 3 土曜日 いぶき作業所 平成 2 年養老町に共同作業所を立ち上げる。平成 10 年大垣市に移転。平成 18 年 NPO 法人西濃地域精神障害者家族会「いぶき会」となり現在に至る。隔月に開く「家族のつどい」では、家族の関わり方や家族の思いを自由に話し合い、また福祉に関する DVD を観たり、講演会、研修会に参加している。年に一度、精神科の嘱託医を招き、家族が抱える将来の不安などを相談する機会を設けている。大垣市ボランティア連絡協議会に所属し地域の清掃活動をする。</p>
<p>ハウス希望 理事長 久保田正司 ☎503-1339 養老郡養老町金屋79-2 ☎/FAX 0584-32-0088 会員 26 名 【NPO 法人 B 型事業所・グループホーム運営】</p>	<p>家族会設立：昭和 63 年。作業所開設：平成 2 年。 平成 10 年に「ハウス希望」と改称。NPO 法人化し、家族による運営を行い、作業所家族会として現在に至る。 定例会：奇数月の第 2 土曜日・午後。 精神疾患に関する知識習得や、障害者の社会参加の為に勉強会を実施。親亡き後を考え、金銭的にも自立した生活ができる事を目指す。</p>
<p>いこい会 会長 安藤勝子 ☎503-2416 揖斐郡池田町萩原113 ☎ 0585-45-5071 会員 16 名</p>	<p>平成 4 年より集まりがあり、活動する。 設立総会：平成 7 年 定例会：毎月第 3 水曜日（適宜） 茶話会：奇数月第 1 月曜日</p>

	話し合い・支え合い・学び合いをモットーとする。 学習会や忘年会等を行い、研修会に参加する。 現在は、母親の会になり、父親の参加を望む。 次の世代の会員に維持継続を期待する。
<p>中濃わかば会 会長 田中利正 ☎501-3944 関市山田 1139-19 携帯 090-1284-7882 会員 20 名</p> <p>NPO 法人チームわかば【地域活動センター】 ☎501-3884 関市孫六町 13 ☎/FAX 0575-23-4859 理事長 山田偉雄</p>	<p>設立：昭和 58 年 中濃地域家族会として発足 定例会（わかばサロン）：毎月第 3 土曜日 作業所開設：平成 2 年 当初は「中濃わかば作業所」 機関誌：毎月「わかば通信」を「中濃わかば」と「チームわかば」で共同発行。例会では情報交換と勉強会を主に行っている。新規会員が少なく、高齢化と相まって例会の参加者は少ない。会員が参加したくなるような例会の企画を心がけ、仲間たちを増やしたい。</p>
<p>郡上家族会（つくしの会） 代表 谷口昇三 ☎501-4612 岐阜県郡上市大和町剣 61-1 ☎ 0575-88-4910 FAX 0575-88-4917 会員 11 名 代理 斎藤武生 NPO 法人郡上つくし会 代表 西村省一 フレンドシップつくしの家【就労継続支援 B 型】</p>	<p>家族会設立：平成 14 年 定例会：隔月第 2 水曜日 各種研修会・講演会に参加 ※定例会では、「つくしの家」等で、精神科医師・保健師・訪問看護師・相談員等による勉強会を開催している。 ※会員の高齢化が進み、会の維持に苦慮している。</p>
<p>NPO 法人東濃やまなみ会 代表 柘植昭和 会員 20 名 ☎508-0042 中津川市西宮町 4 -37</p> <p>ふきのとう【地域活動支援センター】 ☎508-0032 中津川市栄町 8 番 9 号 ☎/FAX 0573-66-8088 施設長 柘植昭和 定員 13 名</p>	<p>発足：昭和 58 年「露のとう会」 (東濃地域精神障害者家族会) 昭和 63 年(1988 年) 中津川ふきのとう作業所を恵那市に開設 平成 18 年(2006 年) 8 月 NPO 法人化 東濃やまなみ会(恵那市と中津川市の合同家族会) 事務所：恵那市作業所 定員 40 名 平成 20 年(2008 年)に中津川市に作業所・事務所移転。 定員 20 名 中津川市独自の家族会を結成 (恵那事務所はその後解散) 偶数月に家族会を開催、昼食を食べての会合。12 月は三菱電機からのリンゴ寄贈品をみんなで食べる会を実施。</p>
<p>NPO 法人東濃さつき会 理事長 江崎道春 会員 40 名 ☎507-0068 多治見市大藪町 849 番地 1 ピュアハート姫 【就労継続支援 B 型事業所】定員 30 名 【就労移行支援】定員 6 名 ☎ 0572-27-3744 FAX 0572-51-7547</p>	<p>設立：昭和 61 年(1986 年) 5 月 定例会：毎月第 2 土曜日午後 デイケアを出発点に、平成 3 年 10 月小規模作業所ドリームプラザ(東濃西部市町村福祉事業委託)を開所。 平成 19 年 1 月多治見市にピュアハート姫を開所。 平成 21 年 4 月両事業所とも「障害者自立支援法」の法定事業所(就労継続支援 B 型)に移行。</p>

<p>相談支援事業所ウイズ 【特定相談・障がい児相談】 ☎ 0572-51-7589 FAX 0572-51-7547 ドリームプラザ【就労継続支援B事業所】 定員 20名 ☎509-6121 瑞浪市寺河戸町 980 番地 ☎/FAX 0572-56-0206</p>	<p>平成 26 年 10 月相談支援事業所ウイズ開設。 平成 31 年 4 月国庫補助金を得て、ピュアハート姫を新規建替、7 月就労移行支援を加え多機能型事業所に。 家族会は、毎月たよりを発行し、第 2 土曜日を基本に交流会、学習会、相談会などを行い、悩みを出し合い話し合っています。地域の福祉祭りなどにも参加します。</p>
<p>青葉の会 代表 大下恵子 ☎506-0825 高山市石浦町 9 丁目 13 番地 1 ☎ 0577-33-3559 携帯 080-5125-7772 会員 18 名</p>	<p>設立：昭和 60 年 8 月 6 日 例会：毎月第 2 木曜日 高山市きりう福祉センター 毎月の例会において、会員相互の問題や悩みを共有し支え合っている。家族会運営の為のリサイクル事業や、市民団体・社会福祉協議会等へのイベントに参加協力して、地域での精神保健福祉に対する理解・啓発に努める。 行政や関係機関等の出前講座等を通じ、学ぶ機会を設ける。 平成元年に「青葉の家」設立。その後「青空作業所」に名称変更</p>
<p>白川町やすらぎ会 設立：昭和 59 年 昭和 59 年に町単独として発足以来、35 年間、活動してきました。</p>	<p>会員の減少と高齢化に伴い、平成 29 年度から休止状態でした。今後も活動は無理と判断し、去る令和元年 11 月 19 日、会長ほか 3 人と話し合い、今年度末をもって解散予定です。（白川町保健福祉課）</p>

1985 年（昭和 60 年）当時の家族会（創刊号より）

れんげ家族会	伊自良村家族会
須田病院家族会	高根村地域家族会
慈恵中央病院家族会	古川町地域家族会
岐阜精神病院家族会	丹生川村地域家族会
白川町やすらぎ会	上宝村ともしび会
恵那地区家族会	可茂地区家族会
中濃地区家族会	岐阜赤十字病院家族会
岐阜市あけぼの会	美濃加茂病院家族会

□…「ぎふかれん」加入家族会

□…「ぎふかれん」未加入家族会

編集後記

この「あゆみ 概略版」は、「ぎふかれん」にある資料、主に「ぎふかれん誌」（64 号まで）を参考に作成いたしました。修正等がありましたらご連絡ください。
2020 年度に詳しい資料を掲載した「あゆみ」を作成する予定です。ご協力をお願いします。